

— 灰色かび病・菌核病防除の進化した殺菌剤 —

・ **カンタス**[®] ドライフロアブル

豆類・野菜・果樹用殺菌剤

BASF

The Chemical Company

進化した殺菌剤、カンタス ドライフロアブル誕生。

カンタス ドライフロアブルはBASF社が開発した新規殺菌剤です。
本剤はカルボキサミド系化合物で他の灰色かび病、菌核病防除剤とは異なる作用性を有し、BJL-994ドライフロアブルの試験番号で平成11年より(社)日本植物防疫協会を通じて日本各地の公的試験機関で野菜・豆・果樹の灰色かび病と菌核病を対象に効果・薬害の検討がなされ、両病害に優れた効果が確認されました。
また、同時に人畜への安全性評価試験や作物、土壌への残留試験がなされ、人畜や環境への安全性が高いことが確認され、平成17年1月に野菜、豆、ぶどうの灰色かび病、菌核病防除剤として初期登録され、その後、レタス、ピーマン、にんじんなどに登録拡大されています。
本冊子は、今までの知見をまとめましたので、ご指導のご参考に賜れば幸いです。

目次

● 特長	03
● 有効成分と物理化学的性状	04
● 安全性	04
● 抗菌スペクトラム	05
● 作用機作と作用特性	06
・作用機作	06
・作用点	06
・作用特性	07
● 適用作物・病害と使用方法	09
● 開発試験中の作物・病害	09
● 使用上のポイントと試験事例	10
● 他剤との混用事例	17
● 委託試験成績概要	21

特長

1 灰色かび病、菌核病などの病害に顕著な効果

野菜類・豆類・果樹の灰色かび病、菌核病に対し発生前から発生初期の散布で高い効果を発揮します。

2 他剤耐性菌にも有効

新しい系統の薬剤であり、既存の薬剤に耐性を示す菌にも有効です。

3 有効成分がスムーズに葉内に浸達

有効成分が葉内に入り、蒸散流により葉先・葉縁に移行し、散布ムラによる感染を防止します。

4 残効性、耐雨性に優れる

有効成分が葉内に浸達するため、残効性や耐雨性に優れた剤です。

5 予防効果に優れる

治療効果も有するが、孢子発芽阻害に優れ発病前から発病初期の予防的な散布が効果的です。

6 有用昆虫に影響が少ない

ミツバチ、マルハナバチなどの訪花活動への影響や、ハナカメムシ、クモ類などの天敵への影響は少ない剤です。

抗菌スペクトラム

顕著な効果 ★★★★★ 高い効果 ★★★ やや劣る ★★ 劣る ★

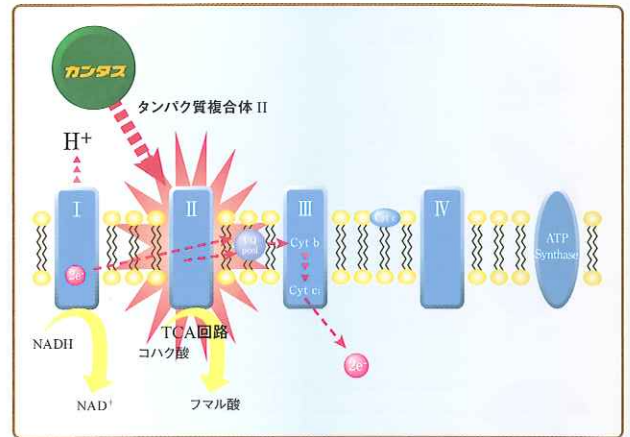
作物名	病害名	病原菌名	活性	
 いちご	灰色かび病	<i>Botrytis cinerea</i>	★★★★★	
 なす	灰色かび病	<i>Botrytis cinerea</i>	★★★★★	
	菌核病	<i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	★★★★★	
	すすかび病	<i>Mycovellosiella nattrassii</i>	★★★★★	
 トマト	輪紋病	<i>Alternaria solani</i>	★★★★★	
	灰色かび病	<i>Botrytis cinerea</i>	★★★★★	
	菌核病	<i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	★★★★★	
 ピーマン	葉かび病	<i>Fulvia fulva</i>	★★★★	
	灰色かび病	<i>Botrytis cinerea</i>	★★★★★	
 ししとう	灰色かび病	<i>Botrytis cinerea</i>	★★★★★	
	黒枯病	<i>Corynespora cassicola</i>	★★★★★	
 うり科	灰色かび病	<i>Botrytis cinerea</i>	★★★★★	
	菌核病	<i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	★★★★★	
	黒斑病	<i>Alternaria cucumerina</i>	★★★★	
	褐斑病	<i>Corynespora melonis</i>	★★★★★	
	炭疽病	<i>Colletotrichum orbiculare</i>	★★★★	
 キャベツ	黒斑病	<i>Alternaria brassicae</i>	★★★★★	
	菌核病	<i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	★★★★★	
 レタス	灰色かび病	<i>Botrytis cinerea</i>	★★★★★	
	菌核病	<i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	★★★★★	
	小粒菌核病	<i>Sclerotinia minor</i>	★★★★★	
	すそ枯病	<i>Rhizoctonia solani</i>	★★★	
 さやえんどう	灰色かび病	<i>Botrytis cinerea</i>	★★★★★	
	 にんじん	黒葉枯病	<i>Alternaria dauci</i>	★★★★★
		菌核病	<i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	★★★★★
		斑点病	<i>Cercospora carotae</i>	★★★★
 たまねぎ	灰色かび病	<i>Botrytis cinerea</i>	★★★★★	
	灰色腐敗病	<i>Botrytis allii</i>	★★★★	
	小菌核腐敗病	<i>Botrytis squamosa</i>	★★★★	
	黒斑病	<i>Alternaria porri</i>	★★★★★	
	菌核病	<i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	★★★★★	
 豆類	灰色かび病	<i>Botrytis cinerea</i>	★★★★★	
	菌核病	<i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	★★★★★	
 かんきつ	灰色かび病	<i>Botrytis cinerea</i>	★★★★	
	そうか病	<i>Elsinoe fawcettii</i>	★★★	
 ぶどう	灰色かび病	<i>Botrytis cinerea</i>	★★★★★	
	黒とう病	<i>Elsinoe ampelina</i>	★★★★	
	晩腐病	<i>Colletotrichum gloeosporioides</i>	★★★★	
	すす点病	<i>Zygothiala jamaicensis</i>	★★★★★	

作用機作と作用特性

作用機作

本剤はコハク酸を基質とした酸素呼吸を阻害し、病菌のエネルギー代謝を妨げ抗菌活性を発揮します。植物病原菌の細胞内にあるミトコンドリアに作用し、呼吸回路の一つである電子伝達系の中のタンパク質複合体IIと結合して呼吸エネルギー代謝を妨げます。この作用によりカンタスは植物病原菌のエネルギーとなるATPの合成を阻害し、菌を死滅させます。

● ミトコンドリアにおける電子伝達系阻害

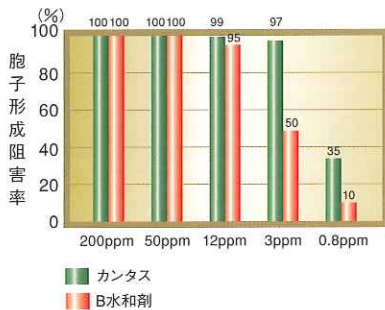


■ 灰色かび病菌の生活環と作用点

カンタス ドライフロアブルは孢子発芽を強く阻害します。また、発芽管の伸長・付着器の形成や菌糸侵入も阻害し予防効果に優れています。灰色かび病菌では菌糸伸長や孢子形成も阻害し、発病後の二次感染も防止します。

● 孢子形成阻害作用

いんげんまめ灰色かび病



● 孢子発芽阻害作用

EC50: 0.07ppm (0.03~0.17ppm)

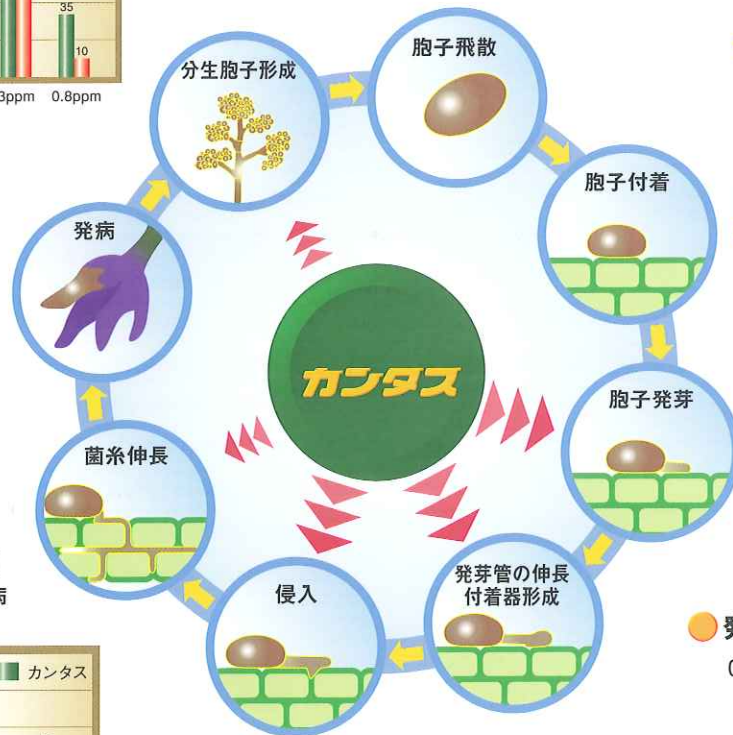
EC98: 1.1ppm (0.22~1.94ppm)



● 無処理: 葉面上の *Botrytis cinerea* の分生孢子

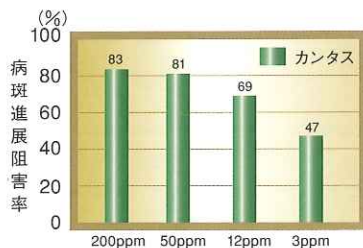


● カンタス250ppm処理: 葉面上の *Botrytis cinerea* の分生孢子は潰れている (BASFドイツ研究所)



● 病斑進展阻害作用

いんげんまめ灰色かび病



● 発芽管伸長阻害作用

0.5ppm: 75~100%

(95菌株/98菌株)

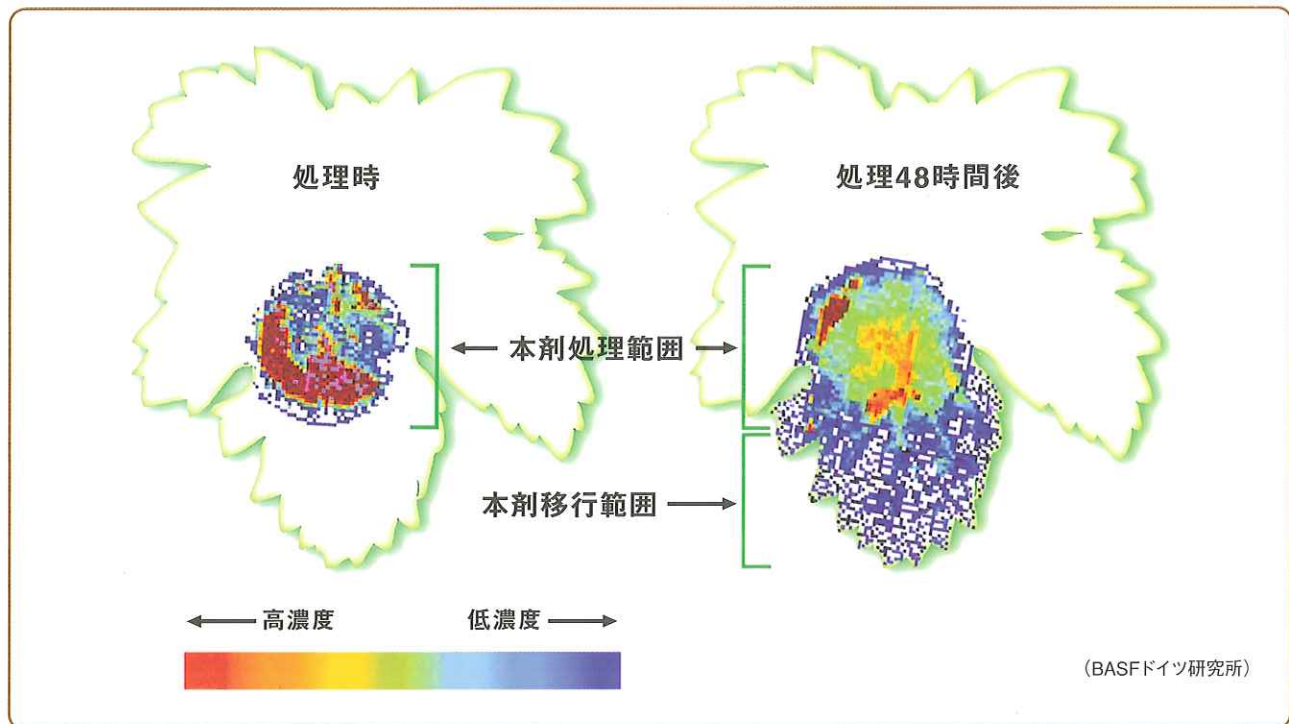
カンタス ドライフロアブル: 1000倍希釈 500ppm
1500倍希釈 333ppm

■ 作用特性

1. 浸達性

カンタス ドライフロアブルは有効成分が葉内に入り、蒸散流により葉内の水分移動とともに葉先・葉縁に移行し、散布ムラによる感染を防止します。

● ぶどう葉内の¹⁴Cを用いた有効成分の移行性

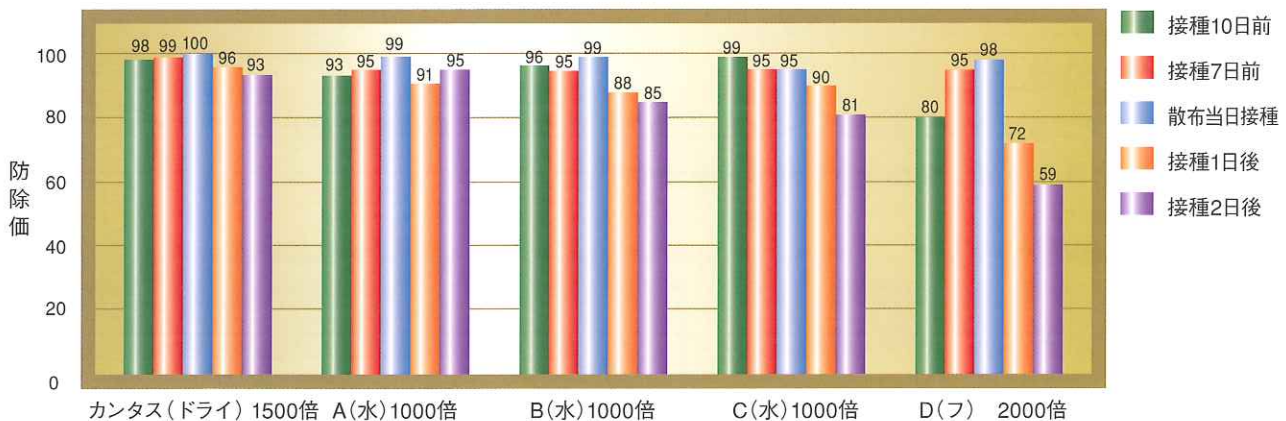


2. 予防効果と治療効果

カンタス ドライフロアブルは治療効果も有するが、高い予防効果があり、感染前の使用が効果的です。

● いんげんまめ灰色かび病

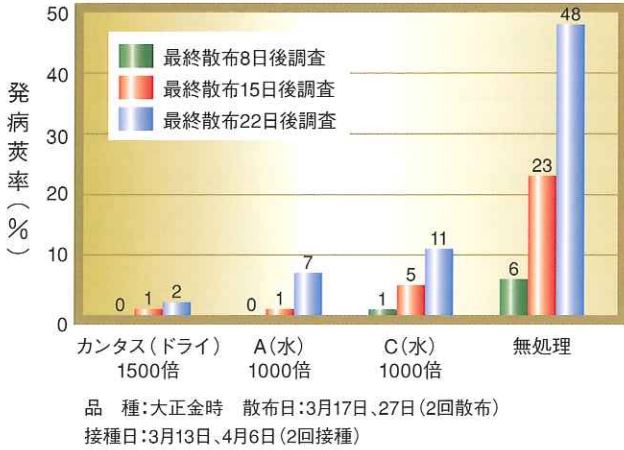
(平成15年 BASF田原研究所)



3. 残効性

カンタス ドライフロアブルは有効成分が葉内に浸達移行するため、散布後長期間殺菌効果を示します。

● いんげんまめ灰色かび病 (平成15年 BASF田原研究所)



● いちご灰色かび病 (平成16年 鹿児島農試)

10日間隔と15日間隔散布との違いによる防除効果

薬剤名	希釈 倍数	散布 間隔	散布日				防除価
			3/5	3/15	3/21	3/25	
カンタス (ドライ)	1500 倍	10日 間隔	○	○	○	○	100 98 91
カンタス (ドライ)	1500 倍	15日 間隔	○		○	○	95 96 66
E (フロアブル)	1500 倍	10日 間隔	○	○	○	○	99 93 53

■ 最終散布7日後調査 ■ 最終散布15日後調査 ■ 最終散布22日後調査

品 種: さつまおとめ

発生量: 中程度 (発病率 最終散布7日後に43.4%)

3月6日から3月15日の間接種源を設置。

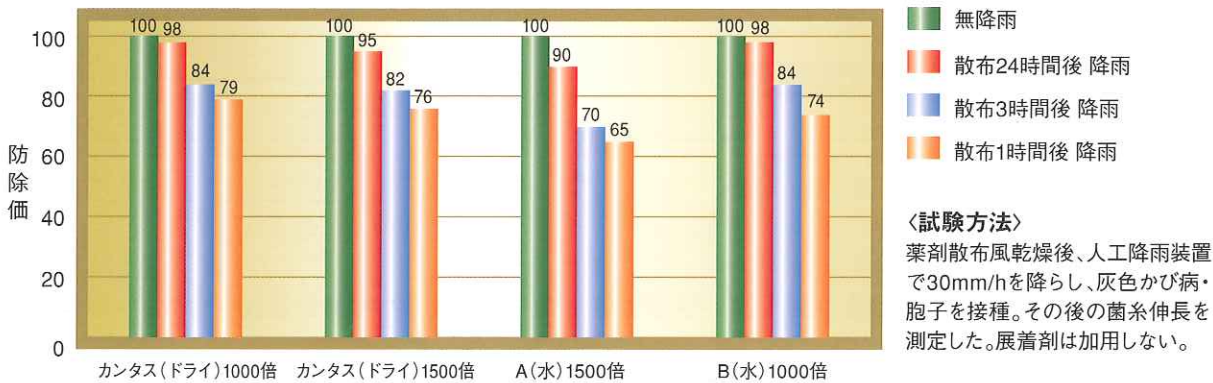
考察概要: 少〜中発生条件下では、15日間隔で散布が可能であり、連続散布における残効は10日間隔4回散布で約22日、15日間隔3回散布で約15日程度。

※カンタス(ドライ)のいちごの総使用回数は3回以内です (適用作物・適用病害と使用方法を参照)

4. 耐雨性

カンタス ドライフロアブルは散布直後の降雨で影響が認められますが、通常の使用では、効果への影響は少ない剤です。

● いんげんまめ灰色かび病



5. 他剤耐性菌への効果

カンタス ドライフロアブルはベンゾイミダゾール系、ジカルボキシイミド系剤耐性菌との交差耐性を認めず、これらの剤に耐性を示す菌にも有効です。

● ベンゾイミダゾール系剤との交差耐性 (ppm)

	カンタス		カルベンダジム	
	EC ₅₀	EC ₉₈	EC ₅₀	EC ₉₈
感受性系統	0.08	0.47	0.05	0.061
耐性系統	0.05	0.46	>5.0	>5.0

(平成12年 BASFドイツ研究所)

● ジカルボキシイミド系剤との交差耐性 (ppm)

	カンタス		プロシミドン	
	EC ₅₀	EC ₉₈	EC ₅₀	EC ₉₈
感受性系統	0.08	0.47	0.45	4.84
耐性系統	0.07	2.12	>50.0	>50.0

(平成12年 BASFドイツ研究所)

適用作物・病害と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ボスカリドを含む農薬の総使用回数
いちご	灰色かび病	1000~1500倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
トマト ミニトマト	灰色かび病 菌核病 葉かび病						
なす	灰色かび病 菌核病 すすかび病						
ピーマン	灰色かび病 黒枯病						
ししとう		2回以内		2回以内			
きゅうり	灰色かび病 菌核病 褐斑病	1500倍		3回以内	3回以内		
すいか メロン	菌核病	1000~1500倍		収穫14日前まで	1回		1回
レタス 非結球レタス	灰色かび病 菌核病			収穫7日前まで	2回以内		2回以内
くきちしゃ				収穫前日まで			
キャベツ	菌核病			1500倍			
さやえんどう	灰色かび病	1000倍	収穫前日まで				
にんじん	黒葉枯病 斑点病	1000~1500倍	収穫14日前まで				
たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病		収穫前日まで	3回以内	3回以内		
らっきょう	灰色かび病		1500倍				
だいず	菌核病		収穫7日前まで				
あずき	灰色かび病 菌核病	1000~1500倍	収穫21日前まで	2回以内	2回以内		
いんげんまめ			収穫14日前まで	3回以内	3回以内		
かんきつ	灰色かび病	1500倍	収穫7日前まで				
大粒種ぶどう	灰色かび病 すす点病	1000~1500倍	200~700ℓ/10a	収穫14日前まで			

△ 効果・薬害等の注意

- 散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- きゅうりに使用する場合、高温条件や散布後急激に乾燥すると葉焼けや日焼け果の発生を助長するおそれがあるので注意してください。
- 果菜類、ぶどうに使用する場合、浸透性を高める効果のある展着剤や葉面液肥を加用すると薬害が生じるおそれがあるのでさけてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

△ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするるとともに洗眼してください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 保 管**：直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

開発試験中の作物・病害

作物名	適用病害名	希釈倍数	散布液量	使用時期	総使用回数	使用方法
さやいんげん	灰色かび病	1000倍	100~300ℓ/10a	未定	未定	散布
小麦	眼紋病	1500倍				

使用上のポイントと試験事例

灰色かび病は分生孢子が花弁に飛散して感染するので、開花期以降7~10日間隔で散布します。また、耐性菌発達を回避させるため、作用性の異なる薬剤を輪番(ローテーション)で散布します。

1) 野菜

● いちご灰色かび病



カンタス(ドライ)
1500倍

E(フ) 1500倍

品 種：さつまおとめ
発生量：中発生
(2月26日~3月7日 接種源吊下げ)
散布日：3月4日、10日、17日

発病果率(%)

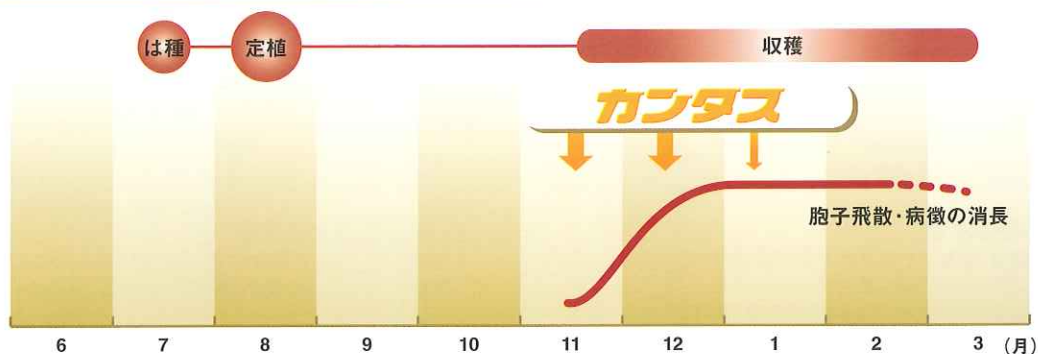


(平成15年 鹿児島農試)



灰色かび病の発生消長と散布時期模式図(トマト)

(カンタスの総使用回数は3回以内)



● トマト灰色かび病



品 種：ハウス桃太郎
発生量：多発生
散布日：平成12年12月14日、25日、
平成13年1月4日
調査日：12月26日~1月15日

発病果率(%)



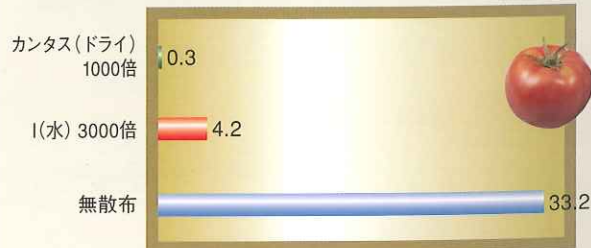
(平成12年 日植防・高知)

● トマト葉かび病



品 種：桃太郎8
発生量：中発生
散布日：8月25日、9月1日、8日
調査日：9月15日

発病度



(平成16年 秋田農試)

● なす灰色かび病



品 種：黒陽
 発生量：中発生
 散布日：2月2日、9日、16日
 調査日：2月5日～2月22日

発病果率(%)



(平成12年 日植防・宮崎)

● なすすすかび病



品 種：竜馬
 発生量：多発生
 散布日：4月18日、25日、5月2日、9日、16日
 調査日：5月30日

発病度



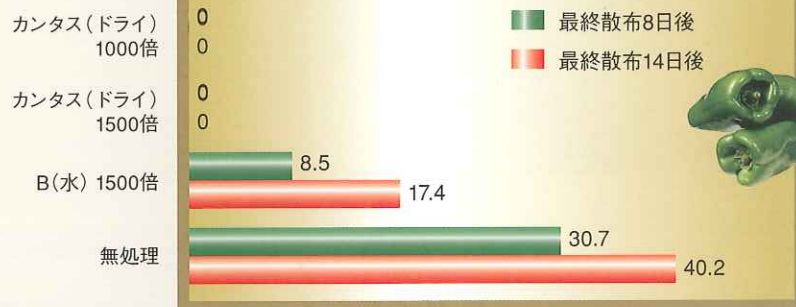
(平成17年 高知農技センター)

● ピーマン灰色かび病



品 種：京みどり
 発生量：中～多発生
 散布日：3月30日、4月9日、18日
 調査日：4月26日、5月2日

発病果率(%)



(平成12年 日植防研究所)

● ししとう黒枯病



品 種：ししほまれ
 発生量：中発生
 散布日：10月9日、16日、23日
 調査日：10月31日



(平成19年 高知農技センター)

● きゅうり灰色かび病



品 種：シャープ1
 発生量：多発生
 散布日：3月2日、9日、16日
 調査日：3月9日～3月23日

カンタス(ドライ) 1000倍
 カンタス(ドライ) 1500倍
 F(水) 1500倍
 無散布

発病果率(%)



(平成12年 日植防・高知)

● きゅうり菌核病



品 種：シャープ1
 発生量：多発生
 散布日：1月6日、13日、21日
 調査日：1月17日～1月27日

カンタス(ドライ) 1000倍
 カンタス(ドライ) 1500倍
 B(水) 1500倍
 無散布

発病果率(%)



(平成11年 日植防研究所)

● きゅうり褐斑病



品 種：夏すずみ
 発生量：多発生
 散布日：6月6日、13日、20日、27日
 調査日：7月4日

カンタス(ドライ) 1500倍
 J(フ) 1000倍
 無散布

発病度



(平成17年 日植防研究所)

● メロン菌核病



品 種：アールス セイヌ秋冬II
 発生量：中発生
 散布日：11月28日(開花終期)
 12月5日、15日、25日
 調査日：平成14年1月4日

カンタス(ドライ) 1000倍
 カンタス(ドライ) 1500倍
 B(水) 2000倍
 無散布

発病果率(%)

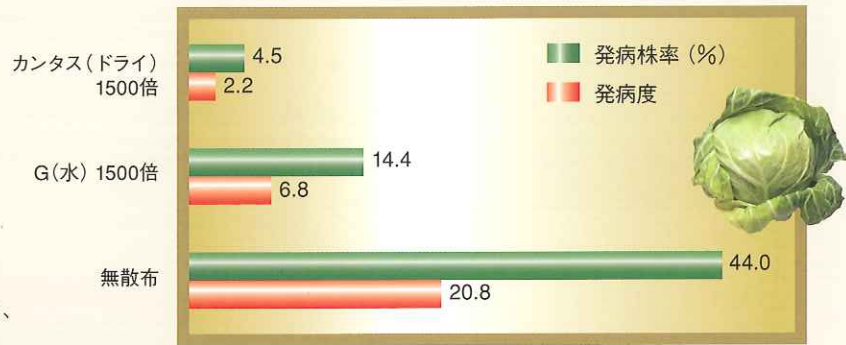


(平成14年 日植防・宮崎)

● キャベツ菌核病



品 種：秋蒔極早生2号
 定植日：10月14日 発生量：中発生
 散布日：平成12年11月27日（結球初期）、
 12月4日、18日、28日
 調査日：平成13年1月9日

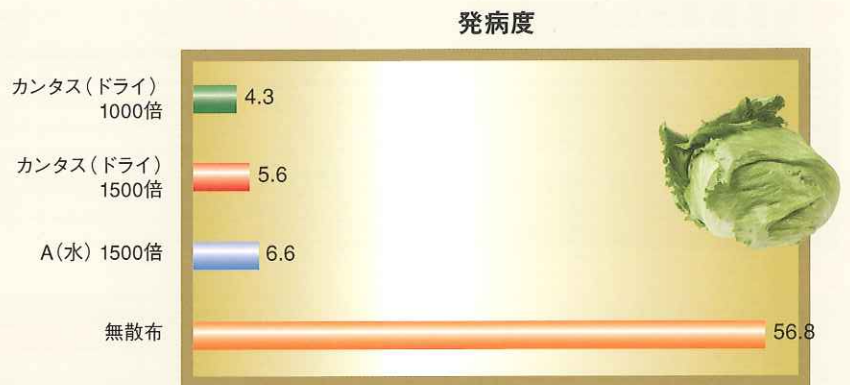


(平成12年 日植防・高知)

● レタス灰色かび病



品 種：シスコ
 発生量：多発生
 散布日：1月29日、2月5日、
 12日、19日、26日
 調査日：3月5日

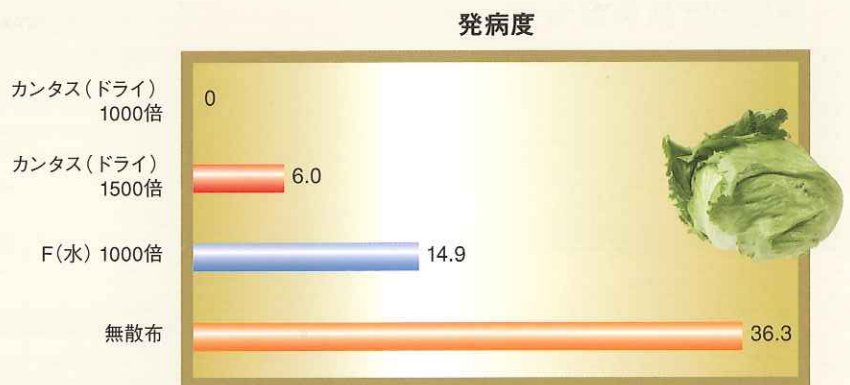


(平成11年 日植防・高知)

● レタス菌核病



品 種：菊川102 定植日：11月13日
 発生量：多発生(接種)
 散布日：平成13年11月13日(定植日)、
 20日、12月11日(結球初期)
 調査日：平成14年1月4日



(平成13年 静岡農試)

● にんじん黒葉枯病



品 種：向陽二号
 発生量：多発生
 散布日：8月13日、19日、27日
 調査日：9月1日(最終散布5日後)、
 9月17日(最終散布21日後)



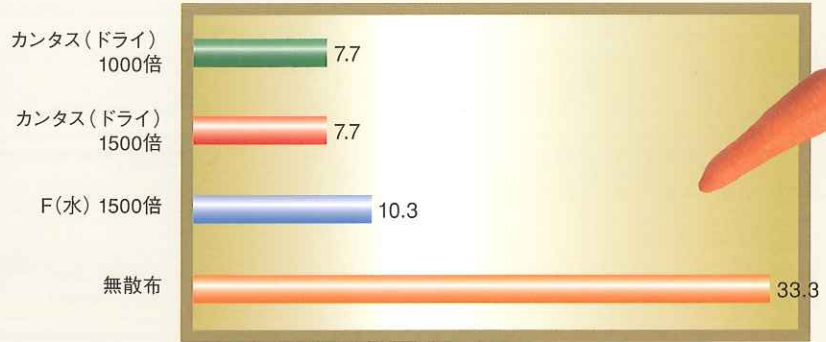
(平成16年 青森農総研・畑園試)

● にんじん斑点病



品 種：向陽二号
 発生量：多発生
 散布日：8月13日、19日、26日
 9月3日、11日
 調査日：9月17日

発病度

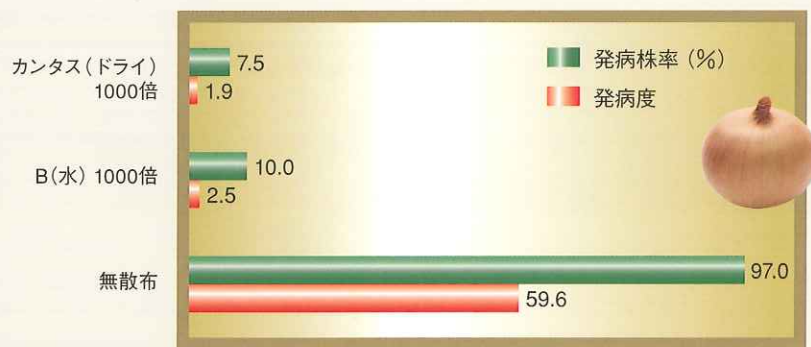


(平成16年 北海道植防)

● たまねぎ灰色かび病



品 種：O・L黄(11月4、5日定植)
 発生量：多発生
 散布日：4月28日、5月8日、19日、29日
 調査日：6月9日



(平成12年 日植防研究所)

● たまねぎ灰色腐敗病



品 種：ソニック
 発生量：多発生
 散布日：4月8日、15日、22日
 調査日：5月25日

発病球率(%)



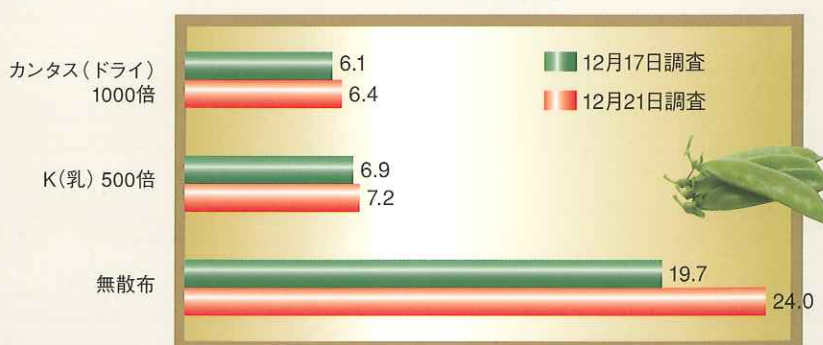
(平成16年 大阪食とみどり)

● さやえんどう灰色かび病



品 種：ニムラサラダスナップ
 発生量：多発生(接種)
 散布日：12月4日、14日
 調査日：12月17日、21日

発病率(%)



(平成19年 愛知農総試)

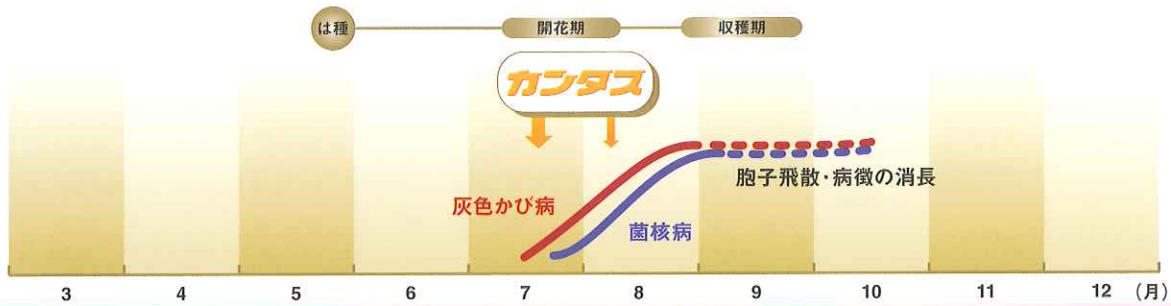
さやえんどう灰色かび病写真提供:愛知県農業総合試験場 松崎聖史

2)豆類



灰色かび病・菌核病の発生消長と散布時期模式図(いんげんまめ)

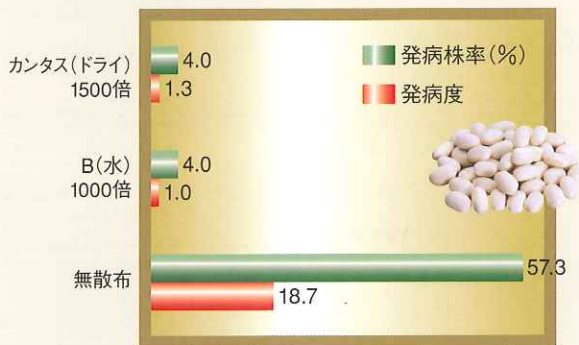
(カンタスの総使用回数は2回以内)



いんげんまめ灰色かび病



品 種：大正金時
 開花始：7月13日
 発生量：少発生
 散布日：7月18日、29日、
 8月8日
 調査日：8月18日



(平成13年 北海道植物防疫協会)

いんげんまめ菌核病



品 種：大正金時
 開花始：7月5日
 発生量：少発生
 散布日：7月11日、17日、27日
 調査日：8月3日



(平成12年 北海道十勝農試)

あずき灰色かび病



品 種：きたのおとめ
 開花始：7月24日
 発生量：少発生
 散布日：8月4日、13日、21日
 調査日：9月3日

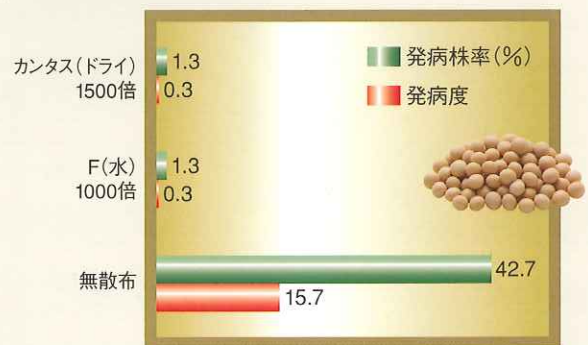


(平成13年 北海道十勝農試)

だいず菌核病



品 種：トヨムスメ
 発生量：少発生
 散布日：7月20日
 (開花始め1週間後)
 28日、8月4日
 調査日：8月11日



(平成17年 北海道植防)

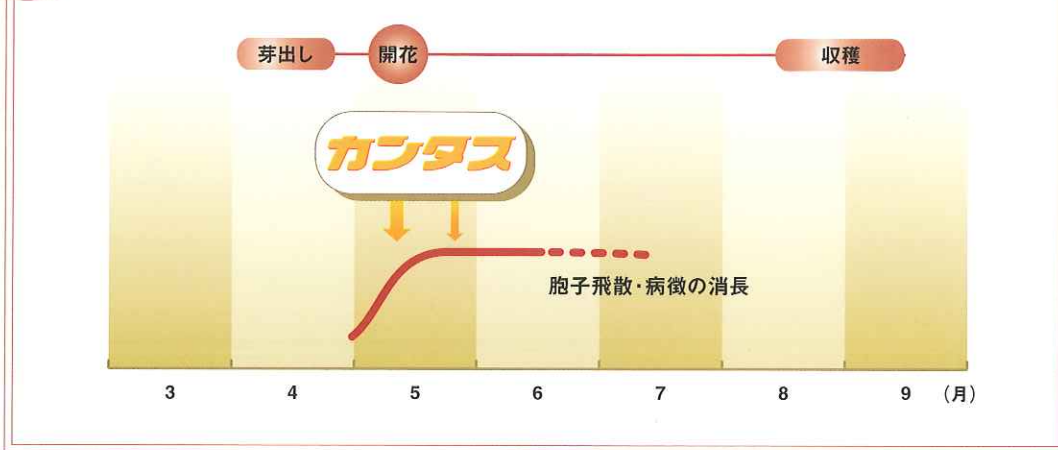
3) 果樹

灰色かび病は分生孢子が花卉に飛来して感染するので、感染時期の開花前、落花後に散布します。



灰色かび病の発生消長と散布時期模式図(ぶどう)

(カンタスの総使用回数は3回以内)



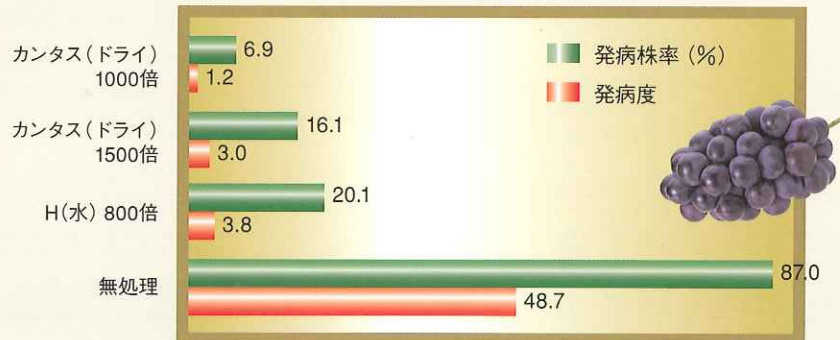
●ぶどう「果粉」の溶脱や汚れ

カンタス ドライフロアブルは、ぶどう果粒が大豆大期までの散布で実用上問題が少ないことが確認されています。

●ぶどう灰色かび病



品 種：巨峰 42年樹(雨よけ栽培)
 発生量：甚発生
 散布日：6月14日(開花初め)、
 6月23日(落花直後)
 調査日：7月9日

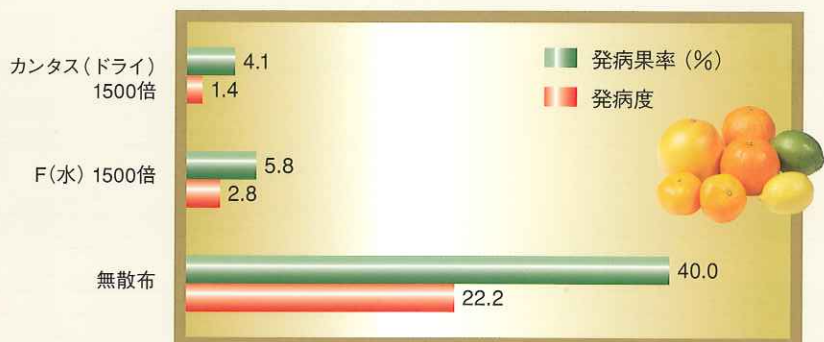


(平成12年 秋田果試・天王)

●かんきつ灰色かび病



試験地：佐賀県小城郡
 品 種：早生温州
 発生量：中発生
 散布日：5月20日(落花直後)
 調査日：7月19日



(平成11年 日植防・宮崎)

他剤との混用事例

殺虫剤

●:混用で問題なし ◎:使用直前の混用で問題なし △:物理性の面で混用不可 ▲:葉害の面で混用不可

	いちご	トマト	ミニトマト	なす	ピーマン	ししとう	きゅうり	すいか	メロン	さやえんどう	キャベツ	レタス	たまねぎ	にんじん	らっきょう	あずき	いんげんまめ	だいず	大粒種ぶどう	みかん
アーデント(水和剤)	●	●	●	●	●		▲													●
アクタラ(顆粒水溶剤)				●	●	●	●	●	●		●						●		●	●
アグロスリン(水和剤)		●		●	●		●	●	●		●	●	●							●
アグロスリン(乳剤)	◎	◎		◎	◎		◎	◎	◎			◎	◎				◎	◎	◎	◎
アタプロン(乳剤)	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●								
アディオン(乳剤)	◎	◎	◎	◎	◎		▲			◎	◎	◎	◎				◎		◎	◎
アディオン(フロアブル)																				◎
アディオン(水和剤)																				●
アドマイヤー(フロアブル)											●	●								●
アドマイヤー(水和剤)		●		●	●		●	●												●
アドマイヤー(顆粒水和剤)		●	●	●	●				●	●	●	●								
アフーム(乳剤)	◎	◎	◎	◎	◎		▲		▲	◎	◎	◎								
アブロード(フロアブル)																				●
アブロード(水和剤)		●		●			●													●
アブロードエース(フロアブル)		●		●																●
ウララDF	●			●																
エコピタSL	●																			
エスマルク(ドライフロアブル)												●								
エルサン(乳剤)/バプチオン(乳剤)								◎		◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎		◎
オサダン(フロアブル)	●	●						●	●											●
オサダン(水和剤)	●			●				●	●							●				●
オリオン(水和剤)								●			●									●
オルトラン(水和剤)		●	●	●							●	●	●			●		●	●	●
オレート(液剤)		●					▲													
ガードジェット(水和剤)		●		●	●			●			●	●								
カスケード(乳剤)	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎								◎
カネマイト(フロアブル)	●			●			●	●	●											●
カルホス(乳剤)											◎									◎
ガンバ(水和剤)											●									●
ゲットアウト(顆粒水和剤)																		●		
コテツ(フロアブル)	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●				●				●
コロマイト(水和剤)	●			●			▲													
コロマイト(乳剤)	◎	◎	◎	◎		◎	▲		▲							◎				
サイアックス(乳剤)							◎						◎			◎	◎	◎		
サイハロン(乳剤)		◎		◎			▲						◎							
サンマイト(水和剤)																				●
サンマイト(フロアブル)	●	●	●		●		●	●	●							●				
ジェイエース(水溶剤)			●	●							●	●								
ジメトエート(乳剤)					◎						◎	◎	◎	◎						
スカウト(フロアブル)				◎		◎														◎
スカウト(乳剤)													◎							◎
スタークル(顆粒水溶剤)		●	●	●	●	●	●	●			●	●								●
スピエース(顆粒水和剤)	●	●		●	●	●	●	●			●	●								
スブラサイド(乳剤)																				◎
スブラサイド(水和剤)					●			●												●
スミチオン(乳剤)	◎			◎				◎					◎		◎	◎	◎	◎		◎
スミチオン(水和剤)																				●
ゼンタリー(顆粒水和剤)	●	●		●	●					●	●			●						
ダイアジノン(乳剤)				◎										◎						
ダイアジノン(水和剤)													●							●
ダニサラバ(フロアブル)	●																			
ダニエモン(フロアブル)																				●

他剤との混用事例

殺虫剤

●:混用で問題なし ◎:使用直前の混用で問題なし △:物理性の面で混用不可 ▲:薬害の面で混用不可

	いちご	トマト	ミニトマト	なす	ピーマン	ししとう	きゅうり	すいか	メロン	さやえんどう	キャベツ	レタス	たまねぎ	にんじん	らっきょう	あずき	いんげんまめ	だいず	大粒種ぶどう	みかん
ダントロン(フロアブル)	●			●	●		●	●	●							●	●	●	●	●
ダントツ(水溶剤)		●	●	●	●		●	●	●		●	●							●	●
チェス(水和剤)	●	●	●	●	●		●	●	●											
ディブテレックス(乳剤)	◎			◎				◎	◎		◎			◎					◎	
テルスター(フロアブル)		●	●	●			●												●	
テルスター(水和剤)				●				●								●				●
デルフィン(顆粒水和剤)	●																			
トアローCT(水和剤)											●	●								
トクチオン(乳剤)	◎										◎		◎			◎		◎		
トリガード(液剤)		●		●																
トルネード(フロアブル)	●	●		●	●						●	●								
トレボン(EW)		●		●			●			●										
トレボン(乳剤)		◎		◎	◎			◎	◎	◎	◎					◎	◎	◎		
ニッソラン(水和剤)	●			●	●	●	●									●			●	
ノーモルト(乳剤)	●	●	●	●						●	●	●						●		
パーマチオン(水和剤)																		●		
バイジット(乳剤)																◎		●		
バイスロイド(EW)																			◎	
バイスロイド(乳剤)																◎	◎	◎		
ハクサブ(水和剤)											●	●								
バダンSG(水溶剤)										●	●	●							●	
ハチハチ(乳剤)		◎	◎				▲				◎	◎								
ハチハチ(フロアブル)																				●
バリアード(顆粒水和剤)	●	●	●	●	●			●												
バロック(フロアブル)	●			●			●	●	●							●			●	●
ピラニカ(水和剤)																			●	
ピラニカ(EW)	◎			◎			◎	◎	◎							◎				
ビルク(水和剤)				●																
ファルコン(フロアブル)						●														
フェニックス(顆粒水和剤)	●	●									●	●						●		
フローバック(フロアブル)											●									
プリンス(フロアブル)											●									
プレオ(フロアブル)	●	●	●	●	●						●	●								
ペイオフME(液剤)													●			●	●	●		
ベジホン(乳剤)											●									
ベストガード(水溶剤)	●	●	●	●	●		●	●	●			●							●	●
ホスピット・DDVP(乳剤)50		●		●	●		●	●	●		●	●	●						●	●
マイトコーネ(フロアブル)	●	●	●	●			●	●												●
マッチ(乳剤)	◎	◎	◎	◎	◎						◎							◎		
マトリック(フロアブル)	●	●	●	●	●						●	●								
マブリック(EW)													●						●	
マブリック20(水和剤)	●	●		●						●		●	●						●	●
マラソン(乳剤)	◎	◎		◎	◎		◎			◎			◎			◎	◎	◎		
マラバッサ(乳剤)													◎							
マイクロデナボン(水和剤)																			●	●
モスピラン(水溶剤)	●	●	●	●	●		●	●	●		●	●	●		●				●	●
ラービン(フロアブル)	●										●	●	●							●
ランネット45DF											●	●	●					●		
ランベック(乳剤)				◎																
ロディー(水和剤)																			●	
ロディー(乳剤)	◎	◎		◎	◎	◎	◎									◎				◎
ロムダン(フロアブル)	●																			

殺菌剤

●：混用で問題なし ○：使用直前の混用で問題なし △：物理性の面で混用不可 ▲：薬害の面で混用不可

	いちご	トマト	ミニトマト	なす	ピーマン	ししとう	きゅうり	すいか	メロン	さやえんどう	キャベツ	レタス	たまねぎ	にんじん	らっきょう	あずき	いんげんまめ	たいず	大粒種ぶどう	みかん
アグリマイシン100													△							
アグレプト(水和剤)													△							
アタッキン(水和剤)													△							
アミスター10(フロアブル)																			●	
アミスター20(フロアブル)	●	●		●				●	●											
アミスターオプティ(フロアブル)		●	●		●			●	●				●							
アリエッティ(水和剤)							△												△	
アリエッティC(水和剤)							△												△	
アリジマン(水和剤)							△						△						△	
アントラコール(顆粒水和剤)	●							●												
イオウ(フロアブル)	●																			
エムダイファー(水和剤)																				●
オーソサイド(水和剤)	●	●	●				●	●	●				●				●		●	
オキシラン(水和剤)		●					●	●	●			●								
カーゼートPZ(水和剤)		●					●	●	●				●					●	●	
カスミンボルドー		●			●		▲				●	●	●	●		●	●			
カセット(水和剤)											●	●	●							
カリグリーン	○		○																	
キノドール(水和剤)							●	●			●	●	●						●	●
キノドール(フロアブル)	●						●	●	●		●	●							●	
グリーンベンコゼブ(水和剤)																		●		
ゲッター(水和剤)	●	●		●			●						●			●	●			
コサイド(DF)	●												●				●	●	●	●
コサイドボルドー		●							▲			●	●	●		●	●		●	●
サニバー(水和剤)																			●	
サブロール(乳剤)	○	○		○	○					○										
サンヨール(乳剤)	●			●	●															
ジーファイン(水和剤)	●			●	●		▲					●								
ジマンダイセン(フロアブル)		●																	●	
ジマンダイセン(水和剤)	●	●					●	●	●		●		●			●	●	●	●	●
ジマンレックス(水和剤)		●											●							
スクレタン(水和剤)												△	△							
スターナ(水和剤)											○	○	○	○	○					
ストロビー(フロアブル)	●			●	●		●	●	●				●	●						
ストロビー(ドライフロアブル)																			●	●
スミレックス(水和剤)		●		●	●											●	●	●		
ダイセド(水和剤)							●					●	●							
ダコニール1000(フロアブル)		●	●	●	●		●	●				●	●	●						
デラン(フロアブル)																			●	●
デランK(水和剤)		●																		
ドーシャス(フロアブル)		●		●	●															
ドイツボルドーA		●	●								●	●	●							
トップジンM(水和剤)		●	●	●			●					●	●			●	●	●	●	
トップジンM(ゾル)		●					●													
トリフミン(乳剤)		○		○			▲													
トリフミン(水和剤)	●	●	●	●	●		●	●											●	
ナレート(水和剤)											●	●	●							
ハーモメート(水溶剤)		○			○		○	○												
バイオキナー(水和剤)		●	●		●			●	●		●	●	●							
バイコラル(水和剤)	●																			
バイレトン(水和剤) 5				●	●					●										
バリダシン(液剤)	●										●	●	●							

■ 他剤との混用事例

■ 殺菌剤

●:混用で問題なし ◎:使用直前の混用で問題なし △:物理性の面で混用不可 ▲:薬害の面で混用不可

	いちご	トマト	ミニトマト	なす	ピーマン	ししとう	きゅうり	すいか	メロン	さやえんどう	キャベツ	レタス	たまねぎ	にんじん	らっきょう	あずき	いんげんまめ	だいず	大粒種ぶどう	みかん
バンチョTF(顆粒水和)	●	●	●		●		●	●												
ビスダイセン(水和剤)		●					●	●				●	●							●
フェリオブラボ(顆粒水和剤)		●																		
フェスティバル(水和剤)																				●
フェスティバルC(水和剤)																		●		
ブリザード(水和剤)		●					●													
フルピカ(フロアブル)	●															●	●			
フロンサイド(水和剤)													●			●	●			
ベルコート(フロアブル)		●		●										●						
ベルコート(水和剤)	●	●	●	●			▲				●	●	●					●		
ベンコゼブ(フロアブル)		●	●				●	●			●									●
ベンコゼブ(水和剤)							●	●			●									●
ベンレート(水和剤)		●		●			●				●		●				●	●	●	
ボトキラー(水和剤)	●	●																		
ホライズン(ドライフロアブル)		●		●			●	●	●				●					●	●	
ポリオキシAL(乳剤)	●	●		●	●		●													
ポリオキシAL(水和剤)	●	●										●		●						
ポリオキシAL(水溶剤)		●																		
ポリバリン(水和剤)							●						●	●						
マテリーナ(水和剤)													●							
マネージDF																				●
マネージ(水和剤)																				●
モレスタン(水和剤)	●						●													
モンカット(フロアブル)											●	●								
ヨネボン							●													
ラリー(水和剤)	●				●		●			●										
ランマン(フロアブル)		●	●	●	●	●	●	●	●				●							●
リゾレックス(水和剤)					●						●	●								
リドミルMZ(水和剤)		●					▲				●		●					●	●	
リドミル銅(水和剤)		●																		
ルビゲン(水和剤)	●	●			●															
ロブラール(水和剤)				●	●		●						●	●				●	●	
ロブラール500アクア(フロアブル)	●			●																
KBW																	●			
Zボルドー(水和剤)		●	●	●			●	●				●					●			●

※本混用事例は2例以上の試験事例で薬害が認められない場合●印を付けており、混用の目安として作成しています。作物の品種、ステージ、気象条件などにより適さない場合がありますので注意してください。

展着剤の加用

果菜類、ぶどうに使用する場合、浸透性を高める効果のある展着剤を加用すると薬害が生じるおそれがあるのでさけてください。

委託試験成績概要

作物名	病害名	年次	試験機関	系統数	発生量	散布日	結果				対照薬剤	備考	
							対対照	対無処理	判定	薬害			
いちご	灰色かび病	H.11	栃木植防	1000	中	5/13,20,27	C	B	B	—	メバニピリム(フ)×2000		
			日植防研	1000	少	H12.1/21,27,2/4,14,21	B	A	A	—	プロシミドン(水)×1500	H12.報告	
			1500				B	A	A	—			
			奈良植防	1000	多	3/14,21,29	B	A	A	—	プロシミドン(水)×2000	H12.報告	
			日植防(宮崎)	1000	少	H12.2/14,21,28,3/6	B	B	B	—	プロシミドン(水)×2000	H12.報告	
			1500				B	B	B	—			
		H.12	栃木農試	1000	甚	5/17,24,30	?	?	?	—	イブロジオン(水)×1500		
			日植防研	1000	少	H13.2/27,3/6,13,21	B	A	A	—	プロシミドン(水)×1500	H13.報告	
			1500				B	A	A	—			
			神戸大学	1000	中	1/14,22,29	B	A	A	—	イブロジオン(水)×1500		
			1500				B	A	B	—			
			日植防(宮崎)	1000	少	H13.2/14,21,3/1,8	B	B	B	—	プロシミドン(水)×2000		
		1500				B	B	B	—				
		H.13	新潟植防	1000	多	5/13,20,27	B	B	B	—	イブロジオン(水)×1500		
			栃木農試	1000	中	6/11,18,25	B	B	B	—	イブロジオン(水)×1500		
		1500				B	B	B	—				
		H.14	静岡農試	1500	多	2/28,3/7,14	(B)	(B)	(B)	—	メバニピリム(フ)×2000	直委託	
		H.15	鹿児島農試	1500	極少	2/7,2/14	?	?	?	—	イブロジオン(アクア)×1500	九防協	
			鹿児島農試	1500	中	3/4,10,17	(B)	(A)	(A)	—	イブロジオン(アクア)×1500		
			大分農技セ	1500	少	H14.12/27,H15.1/6,15	(B)	(A)	(A)	—	イブロジオン(アクア)×1500	九防協	
		H.16	鹿児島農試	1500	多	3/5,15,25,4/4	(A)	(A)	(A)	—	イブロジオン(アクア)×1500	九防協	
3/5,21,4/4				(B)	(A)	(A)	—						
大分農技セ	1500		極少	4/1,12,21	?	?	?	—	イブロジオン(アクア)×1000	九防協			
4/1,16				?	?	?	—						
長崎総農試	1500	少	2/24,3/5,15,25	—	—	(B)	—	—	九防協				
2/24,3/10,25			—	—	(B)	—							
トマト	灰色かび病	H.10	日植防研	1000	甚	3/2,9,16,23	A	A	A	—	プロシミドン(水)×1500		
			1500				A	A	A	—			
			H.11	石川農総研	1000	甚	4/16,24,30	A	A	A	—	イブロジオン(水)×1000	
			1500				A	A	A	—			
			日植防研	1000	中	H12.11/16,27,12/6,15,22	B	A	A	—	イブロジオン(水)×1000	H13.報告	
			1500				B	A	A	—			
		三重農技セ	1000	甚	3/2,8,16	B	A	B	—	イブロジオン(水)×1500			
		日植防(高知)	1000	甚	12/9,16,24,31	A	A	A	—	イブロジオン(水)×1000	H12.報告		
		1500				A	A	A	—				
		H.12	石川農総研	1000	中	4/25,5/2,9	A	B	B	—	メバニピリム(フ)×2000		
			1500				A	B	B	—			
			日植防研	1000	少	H13.11/5,12,19,26,12/3	B	A	B	—	プロシミドン(水)×1500	H14.報告	
	1500					B	A	B	—				
	日植防(高知)		1000	甚	H12.12/14,25,H13.1/4	A	A	A	—	イブロジオン(水)×1500	H13.報告		
	1500					A	A	A	—				
	H.13	宮城植防	1000	少	6/6,13,20	B	A	A	—	メバニピリム(フ)×2000			
		1500				B	A	B	—				
		石川農総研	1000	少	5/2,9,16	A	A	A	—	メバニピリム(フ)×2000			
	1500				A	A	A	—					
	黄核病	H.10	日植防研	1000	少	3/2,9,16,23	B	A	A	—	プロシミドン(水)×1500		
			1500				B	A	A	—			
日植防(高知)		1000	少	H11.12/7,7,21,H12.1/5,19,2/2	A	A	B	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000	H12.報告			
1500					A	A	B	—					
H.12		日植防(高知)	1000	少	H12.12/1,14,25,H13.1/5,19	B	A	A	—	チオファネートメチル(水)×1500	H13.報告		
1500					B	B	B	—					
H.13		日植防研	1000	中	2/22,3/1,8,15,22	A	A	A	—	プロシミドン(水)×1500			
		1500				A	A	A	—				
日植防(高知)		1000	中	H14.1/9,16,23,2/1,12,22,3/4	A	A	A	—	チオファネートメチル(水)×1500	H14.報告			
1500					B	B	B	—					
H.14	日植防(高知)	1000	中	H14.12/26,H15.1/6,16,27	C	B	B	—	チオファネートメチル(水)×1500	H15.報告			
	1500				C	B	B	—					
日植防(宮崎)	1000	少	H15.1/24,31,2/9,19	B	A	A	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000	H15.報告				
1500				B	A	A	—						
葉かび病	H.16	岩手農研セ	1000	少	7/2,13,23,8/2	B	A	B	—	イミノクタジンアルベシル酸塩(水)×5000			
		1500				B	A	B	—				
		秋田農試	1000	中	8/25,9/1,8	B	A	A	—	トリフミゾール(水)×3000			
		1500				C	C	C	—				
	千葉農研セ	1000	少	5/19,26,6/2,10	C	C	C	—	トリフミゾール(水)×5000	発病後散布			
	1500				C	C	C	—					
	日植防/野菜茶研	1000	中	6/11,18,25	D	C	C	—	トリフミゾール(水)×5000	発病後散布			
	1500				D	C	C	—					
H.17	北海道道南農試	1000	多	9/2,8,15,22,30	A	A	A	—	カスガイシン・キャプタン(水)×1000				
	1500				A	A	A	—					
	秋田農試	1000	中	7/15,22,29	B	A	B	—	トリフミゾール(水)×3000				
1500				C	B	B	—						
日植防(宮崎)	1000	甚	5/10,17,24	C	B	B	—	トリフミゾール(水)×3000					
1500				C	B	B	—						

委託試験成績概要

作物名	病害名	年次	試験機関	接種回数	発生量	散布日	結果				対照薬剤	備考	
							対照	対無処理	判定	被害			
なす	灰色かび病	H.11	愛知農総試・国研	1000	少	H12.3/23,30,4/6	B	A	B	—	メバニピリム(フ)×2000	H12.報告	
				1500			B	A	B	—			
			大阪農技セ	1000	少	3/23,28,4/7	B	C	C	—	イプロジオン(水)×1500		
				1500			A	A	A	—			
		日植防(高知)	1000	中	3/8,16,23,30,4/6	B	B	B	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1500			
			1500			B	B	B	—				
		日植防(宮崎)	1000	甚	3/9,16,23,30	B	B	B	—	メバニピリム(フ)×2000			
			1500			B	B	B	—				
		H.12	大阪農技セ	1000	中	5/9,16,23	B	C	C	—	イプロジオン(フ)×1000		
				1500			B	C	C	—			
			日植防(高知)	1000	中	2/21,28,3/6,13	B	B	B	—	プロシミドン(水)×1500	H14.報告	
				1500			B	A	A	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1500	H13.報告	
	H.13	日植防研	1500	中	12/28,H14.1/4,11,21,31	B	A	A	—	ジエトフェンカルブ・プロシミドン(水)×1500			
			1500	甚	2/9,16,23,3/2	A	A	A	—	イプロジオン(水)×1000			
		H.15	鹿児島農試	1500	多	4/10,19	(B)	(B)	(B)	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000	九防協	
				1500									
	菌核病	H.11	日植防(高知)	1000	甚	H11.11/26,12/6,20,H12.1/4,14	A	A	A	—	イプロジオン(水)×1000		
				1500			B	B	B	—	チオファネートメチル(水)×1500	H13.報告	
			H.13	大阪農技セ	1000	少	3/5,12,19	C	B	B	—	イプロジオン(水)×1000	
					1500	多	H14.1/10,17,24,31,2/7	B	A	A	—	チオファネートメチル(水)×1500	H14.報告
		H.14	日植防研	1000	中	12/20,27,H14.1/7,15	B	A	A	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1500	H14.報告	
1500						B	A	A	—				
日植防(高知)			1000	中	H14.10/25,11/1,8,15,22	B	A	A	—	プロシミドン(水)×1500	H15.報告		
			1500			B	A	A	—				
H.15		日植防(高知)	1000	中	H14.12/19,26,H15.1/2,9,16	B	B	B	—	チオファネートメチル(水)×1500			
			1500			B	A	A	—	プロシミドン(水)×1500			
		日植防(宮崎)	1000	中	H15.3/7,17,25,4/1	B	A	A	—	プロシミドン(水)×1500			
			1500			B	A	A	—				
すずかび病	H.16	高知農技セ	1000	中	4/27,5/7,17,27	A	A	A	—	トリフミゾール(水)×3000			
			1500	多	10/5,12,19	B	A	A	—	アゾキシストロピン(フ)×2000			
		福岡農総試	1000	少	H15.12/19,26,H16.1/2	C	C	C	—	TPN(フ)×1000	発病後散布		
			1500			C	C	C	—				
	H.17	大阪食とみどり	1500	中	5/12,19,26,6/2	A	B	B	—	トリフミゾール(乳)×2000			
			1500	多	4/18,25,5/2,9,16	A	A	A	—	イプロジオン(水)×1000			
		高知農技セ	1500	中	6/6,13,23	A	A	A	—	ポリオキシン複合体(水)×2500			
			1500	中	1/4,11	B	B	B	—	TPN(フ)×1000			
きゅうり	灰色かび病	H.10	大阪農技セ	1000	中	H11.11/10,17,24	C	B	B	—	イプロジオン(水)×1000	H11.報告	
				1500			B	B	B	—			
			日植防(高知)	1000	中	3/2,9,16,23	B	A	A	—	イプロジオン(水)×1000	H11.報告	
				1500			B	A	A	—			
			H.11	宮城植防	1000	少	9/20,28,10/5	C	C	C	—	イプロジオン(水)×1000	H12.報告
					1500			C	C	C	—		
		日植防研	1000	中	H12.1/6,13,21,28	B	A	A	—	プロシミドン(水)×1500	H12.報告		
			1500			B	A	A	—				
		日植防(高知)	1000	甚	3/2,9,16	B	A	A	—	イプロジオン(水)×1000			
			1500			B	A	A	—				
		日植防(宮崎)	1000	少	11/30,12/7,14	B	B	B	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1500			
			1500			B	B	B	—				
	H.12	日植防(高知)	1000	甚	H13.1/11,18,25,2/1	B	A	A	—	イプロジオン(水)×1500	H13.報告		
			1500			B	A	A	—				
		日植防(宮崎)	1000	多	H13.3/27,4/3,10	A	A	A	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1500	H13.報告		
			1500			A	A	A	—				
		H.10	大阪農技セ	1000	少	H11.11/10,17,24	C	B	B	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1500	H12.報告	
				1500			B	A	B	—			
菌核病	H.11	日植防研	1000	多	H12.1/6,13,21,31	B	A	A	—	プロシミドン(水)×1500	H12.報告		
			1500			B	A	A	—				
		日植防(高知)	1000	甚	11/25,12/2,9	B	A	A	—	チオファネートメチル(水)×1500	H12.報告		
			1500			B	A	A	—				
	日植防(宮崎)	1000	中	H11.11/30,12/7,14	B	A	A	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1500	H12.報告			
		1500			B	A	A	—					
H.12	日植防研	1000	中	H12.11/15,22,29,12/6	B	A	A	—	プロシミドン(水)×1500	H13.報告			
		1500			B	A	A	—					
日植防(高知)	1000	多	H13.2/28,3/7,14,21	B	A	A	—	チオファネートメチル(水)×1500	H13.報告				
	1500			B	A	A	—						
日植防(宮崎)	1000	中	H13.3/27,4/3,10	B	A	A	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1500	H13.報告				
	1500			B	A	A	—						

作物名	病害名	年次	試験機関	希釈倍数	発生量	散布日	結果				対照薬剤	備考	
							対照	対無処理	判定	薬害			
きゅうり	菌核病	H.13	日植防(高知)	1000	甚	12/6,13,20,27	B	A	A	—	チオファネートメチル(水)×1500	H14.報告	
			1500					B	A	A	—		
		日植防(宮崎)	1000	中	11/23,30,12/7,15	B	A	A	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1500	H14.報告		
		1500				B	A	A	—				
		褐斑病	H.16	岩手農研セ	1000	少	7/22,29,8/4	C	A	B	—	TPN(フ)×1000	
				1500				B	A	B	—		
	長野南信農試		1000	多	6/9,19,30	C	B	B	—	マンゼブ(水)×600			
	1500					C	B	B	—				
	H.17	宮城植防	1500	中	5/6,13,20	B	B	B	—	TPN(フ)×1000			
		千葉農総研	1500	中	6/6,13,20	A	A	A	—	TPN(フ)×1000			
		日植防研	1500	多	6/6,13,20,27	A	A	A	—	TPN(フ)×1000			
		長野南信農試	1500	中	6/1,9,20,30	C	B	B	—	マンゼブ(水)×600			
日植防(宮崎)		1500	甚	5/10,19,27	A	B	B	—	マンゼブ(水)×600				
1500					A	B	B	—	TPN(フ)×1000				
メロン	菌核病	H.12	北植防(有明)	1000	無	7/21,28,8/4,10	—	?	?	—	—		
			1500										
		H.13	北植防(有明)	1000	甚	7/18,25,8/1,7,14	—	A	A	—	—		
			1500										
		日植防(宮崎)	1000	中	11/28,12/5,15,25	B	A	A	—	プロシミドン(水)×2000	H14.報告		
		1500				B	A	A	—				
		H.14	北植防(有明)	1000	甚	7/16,24,31,8/7,14	—	A	A	—	—		
			1500										
		日植防(宮崎)	1000	少	H14.12/9,19,28,H15.1/7	B	A	B	—	プロシミドン(水)×2000	H15.報告		
		1500				B	A	B	—				
		H.15	北植防(有明)	1000	甚	7/29,8/5,13	B	B	B	—	プロシミドン(水)×2000		
			1500										
日植防(宮崎)	1000	少	H14.12/9,19,28,1/7	B	A	B	—	プロシミドン(水)×2000	H15.報告				
1500				B	A	B	—						
すいか	菌核病	H.12	日植防(高知)	1000	甚	H12.11/7,21,28	B	A	A	—	プロシミドン(水)×1500	H13.報告	
			1500				B	A	A	—			
		日植防(宮崎)	1000	甚	H12.12/21,28,H13.1/4,10	B	A	A	—	プロシミドン(水)×1500	H13.報告		
		1500				B	A	A	—				
		H.13	日植防(高知)	1000	多	H14.1/11,18,25	B	A	A	—	プロシミドン(水)×1500	H14.報告	
			1500				C	B	B	—			
		日植防(宮崎)	1000	中	H14.1/8,15,21,28	B	B	B	—	プロシミドン(水)×1500	H14.報告		
		1500											
		H.14	日植防(高知)	1000	多	12/23,30,H15.1/6	B	B	B	—	プロシミドン(水)×1500	H15.報告	
			1500				C	C	C	—			
		日植防(宮崎)	1000	中	12/12,19,28,H15.1/7,17	B	A	A	—	プロシミドン(水)×2000	H15.報告		
		1500											
H.15	鳥取園試	1000	多	9/23,10/1,7	A	C	C	—	イブジオン(水)×1000				
	1500												
ピーマン	灰色かび病	H.11	日植防(高知)	1000	多	H12.2/4,14,24	B	A	A	—	イブジオン(水)×1500	H12.報告	
			1500				B	A	A	—			
		日植防(宮崎)	1000	中	H13.3/9,19,4/3,10,17	B	A	A	—	プロシミドン(水)×1500	H13.報告		
		1500				B	A	A	—				
		H.12	日植防研	1000	多	H13.3/30,4/9,18	A	A	A	—	プロシミドン(水)×1500	H13.報告	
			1500				A	A	A	—			
	日植防(高知)	1000	中	H13.1/17,29,2/12,22	B	A	A	—	イブジオン(水)×1500	H13.報告			
	1500				B	A	A	—					
	日植防(宮崎)	1000	少	H15.3/26,4/4,11,18	B	A	B	—	プロシミドン(水)×1000	H15.報告			
	1500				B	A	B	—					
	H.13	長野中信農試	1000	甚	9/14,19,26	A	A	A	—	イブジオン(水)×1000			
		1500											
日植防(高知)	1000	少	H14.1/30,2/11,25,3/7	B	B	B	—	イブジオン(水)×1000	H14.報告				
1500				B	B	B	—						
黒枯病	H.19	日植防(高知)	1000	中(接種)	10/10,17,24	—	A	A	—				
	1500												
H.20	日植防(高知)	1000	多(接種)	6/2,9,16,23	A	A	A	—	チオファネートメチル(水)×4000				
1500				A	B	B	—						
ししとう	黒枯病	H.19	高知農技セ	1000	少	5/7,14,21,28	—	A	A	—			
			1500										
		高知農技セ	1000	中	10/9,15,23	—	A	A	—				
1500													
キャベツ	菌核病	H.12	日植防(高知)	1500	中	H12.11/27,12/4,18,28	A	A	A	—	チオファネートメチル(水)×1500		
			1500										
		日植防(宮崎)	1500	中	H13.4/5,12,19	B	A	A	—	チオファネートメチル(水)×1500	H13.報告		
		1500											
		H.13	日植防(高知)	1500	多	12/20,30,H14.1/9,18	B	C	C	—	チオファネートメチル(水)×1500	H14.報告	
			1500										
		和歌山農総技セ・農	1500	極少	11/8,15,26,12/4	?	?	?	—	チオファネートメチル(水)×1500	H14.報告		
		1500											
		日植防(宮崎)	1500	少	3/11,18,27,4/3,10	B	A	B	—	チオファネートメチル(水)×1500	H14.報告		
		1500											
		H.14	日植防(高知)	1500	中	H14.11/26,12/6,18,30,H15.1/10	B	B	B	—	チオファネートメチル(水)×1500	H15.報告	
			1500										
日植防(宮崎)	1500	少	H15.3/5,12,19,26	B	A	A	—	イブジオン(水)×1000	H15.報告				
1500													
H.15	群馬農技セ・高冷	1500	中	7/29,8/10,20,27	A	A	A	—	イブジオン(水)×1000				
	1500												
大分食みセンター	1500	中	H14.12/27,1/6,13	A	B	B	—	チオファネートメチル(水)×1500	H15.報告				
1500													
さやえんどう	灰色かび病	H.19	愛知農総試	1000	多	4/10	B	B	B	—	チオファネートメチル(水)×2000		
			1500										
愛知農総試	1000	多	12/4,14	B	B	B	—	DBEDC(乳)×500					
1500													
さやいんげん*	灰色かび病*	H.20	日植防(高知)	1000	少	12/4,11,18	B	A	A	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)	H21.報告	
			1500										
			鹿児島農総セ	1000	少	4/24,5/1	B	A	A	—	フルジオキシニル(フ)×1000		
1500													
日植防(宮崎)	1000	中(接種)	H21.3/10,17,24	B	A	A	—	フルジオキシニル(フ)×1000	H21.報告				
1500													

委託試験成績概要

作物名	病害名	年次	試験機関	希釈倍数	発生量	散布日	結果				対照薬剤	備考	
							対対照	対無処理	判定	薬害			
レタス	灰色かび病	H.11	香川農試	1000	多	2/8,15,22,3/1,11	B	A	A	-	イプロジオン(水)×1000		
				1500			C	B	B	-			
			日植防(高知)	1000	甚	1/29,2/5,12,19,26	B	A	A	-	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1500	H12.報告	
			1500			B	A	A	-				
		日植防(宮崎)	1000	中	11/22,12/3,13,24	B	A	A	-	プロシミドン(水)×2000	H12.報告		
		H.12	北海道・上川農試	1000	少	5/18,6/1,14,21	B	B	B	-	イプロジオン(水)×1000		
			日植防(高知)	1000	甚	H12.2/22,28,3/6	B	A	A	-	イプロジオン(水)×1000		
			(香川農試協力)	1500			C	B	B	-			
			日植防(高知)	1000	中	H13.1/31,2/7,14,21	B	A	A	-	プロシミドン(水)×1500	H13.報告	
			1500			B	A	A	-				
			日植防(宮崎)	1000	中	11/28,12/8,19,27	B	A	A	-	プロシミドン(水)×1500	H13.報告	
			1500			B	A	A	-				
		H.13	日植防(高知)	1000	甚	2/14,21,28	B	B	B	-	イプロジオン(水)×1000		
		(香川農試協力)	1500			B	B	B	-				
		日植防(高知)	1000	多	H14.1/21,28,2/4,11,21	B	A	A	-	プロシミドン(水)×1500	H14.報告		
		1500			B	A	A	-					
	菌核病	H.11	香川農試	1000	中	2/8,15,22,3/1,11	B	A	A	-	イプロジオン(水)×1000		
				1500			B	A	A	-			
			日植防(高知)	1000	多	11/22,12/7,21,H12.1/4	B	A	A	-	チオファネートメチル(水)×1500	H12.報告	
			1500			B	A	A	-	プロシミドン(水)×2000	H12.報告		
		H.12	石川農試	1000	中	5/1,8,16	A	B	B	-	イプロジオン(水)×1000		
			1500			A	C	C	-				
			香川農試	1000	多	11/29,12/6,13	A	A	A	-	ベノミル(水)×1000		
			1500			B	A	A	-				
		日植防(高知)	1000	多	11/24,12/5,14,26	B	A	A	-	チオファネートメチル(水)×1500	H13.報告		
H.13		静岡農試	1000	多	11/13,20,12/11	A	A	A	-	イプロジオン(水)×1000	H14.報告		
		1500			A	A	A	-					
		香川農試	1000	少	2/14,21,28	B	A	A	-	プロシミドン(水)×1000			
	1500			C	B	B	-						
	日植防(高知)	1000	多	12/19,26,H14.1/7,17,29	B	A	A	-	チオファネートメチル(水)×1500	H14.報告			
	1500			B	A	A	-						
	日植防(宮崎)	1000	多	2/22,3/1,8,15	B	A	A	-	プロシミドン(水)×1500				
にんじん	黒葉枯病	H.15	新潟農総研・高冷地	1000	多	8/6,15,27	A	A	A	-	TPN(フ)×1000		
				1500			A	B	B	-			
			H.16	青森畑園試	1000	多	8/13,19,27	A	A	A	-	イミノクタジンアルベシル酸塩(水)×1000	
			1500			A	A	A	-				
			新潟農総研・高冷地	1000	中	8/3,13,23	A	B	B	-	TPN(フ)×1000		
			1500			A	B	B	-				
		H.17	北海道道南農試	1000	中	8/11,18,25,9/1	B	B	B	-	ポリオキシソルベチル(水)×500		
			1500			B	B	B	-				
			青森畑園試	1000	多	8/12,19	A	A	A	-	TPN(フ)×1000		
			岩手植防	1000	多	6/30,7/11,18,25	A	B	B	-	イプロジオン(水)×1500		
			1500			A	B	B	-				
			新潟農総研・高冷地	1000	多	8/2,11,19	A	B	B	-	TPN(フ)×1000		
	斑点病	H.16	北植防	1000	多	8/13,19,26,9/3,11	B	B	B	-	イプロジオン(水)×1500		
				1500			B	B	B	-			
			H.17	北植防	1500	中	8/9,16,23,30	B	A	A	-	クレソキシムメチル(フ)×3000	
			1500			B	B	B	-				
			青森植防	1000	少	9/13,21,27	B	B	B	-	イミノクタジンアルベシル酸塩(フ)×1000	H19.報告	
			1500			B	B	B	-				
たまねぎ	灰色かび病	H.11	北海道・中央農試	1000	甚	6/21,28,7/5,12,19,27	C	B	C	-	フルアジナム(水)×2000		
				1000	甚	6/25,7/2,8,15,22,29	B	B	B	-	フルアジナム(水)×2000		
				1000	少	4/30,5/6	C	B	B	-	イプロジオン(水)×1000		
		H.12	北海道・中央農試	1000	少	6/23,30,7/8,14,24,31	B	B	B	-	フルアジナム(水)×2000		
			北海道・北見農試	1000	甚	6/25,7/4,11,19,26,8/2	A	B	B	-	TPN(フ)×1000		
			1000	多	4/28,5/8,19,29	B	A	A	-	プロシミドン(水)×1000			
		H.13	北海道・中央農試	1500	中	6/13,22,28,7/9,18	B	B	B	-	TPN(フ)×1000		
			北海道・北見農試	1500	多	6/8,15,22,29,7/6,13,21	C	B	B	-	フルアジナム(水)×2000		
			1500	多	8/10,17,24	C	B	B	-	フルアジナム(水)×2000			
		灰色腐敗病	H.16	北海道・中央農試	1000	少	8/3,13,23	B	B	B	-	フルアジナム(水)×1000	H17.報告
					1000	少	7/27,8/4,11,18	B	B	B	-	フルアジナム(水)×1000	H17.報告
					1000	少	4/26,5/6,17,27,6/7,17	B	B	B	-	プロシミドン(水)×1000	
			1000	多	4/8,15,22	A	A	A	-	イプロジオン(水)×1000			
			1500			A	A	A	-				
	H.17		北海道・花野菜セ	1000	少	8/9,16,23,30	B	A	A	-	フルアジナム(水)×1000	H18.報告	
			1000	中	8/14,21,28	B	A	A	-	フルアジナム(水)×1000	H18.報告		
			1000	中	4/21,5/2,12,26,6/6,16	B	B	B	-	プロシミドン(水)×1000			
			1000	少	3/15,30,4/13	B	A	B	-	フルアジナム(水)×1000			
		1500			C	A	B	-	フルアジナム(水)×1500				
		大阪食とみどり	1000	少	3/29,4/13,27	A	A	A	-	イプロジオン(水)×1000			
	H.18	日植防研	1500	中	3/28,4/10,24,5/9,22,6/5	B	A	A	-	プロシミドン(水)×1000			
	1500	少	3/31,4/6,14	A	A	B	-	イプロジオン(水)×1000					

作物名	病害名	年次	試験機関	希釈倍数	発生量	散布日	結果				対照薬剤	備考		
							対対照	対無処理	判定	被害				
たまねぎ	小菌核病	H.21	北植防(富良野)	1500	甚	6/26,7/3,11,17,23	A	A	A	—	イミノクタジンアルベシル酸塩(フ)×1000			
			北植防(岩見沢)	1500	無	6/30,7/7,14,23,30	?	?	?	—	イミノクタジンアルベシル酸塩(フ)×1000			
			北植防(岩見沢)	1500	多	6/30,7/7,14,23,30	A	A	A	—	イミノクタジンアルベシル酸塩(フ)×1000			
らっきょう	灰色かび病	H.17	鳥取園試	1000	少	3/25,4/5,18	B	B	B	—	イプロジオン(水)×1000			
				1500			B	B	B	—				
			鳥取園試	1000	少	3/20,29,4/13	C	C	C	—	イプロジオン(水)×1000			
			1500			B	B	B	—					
あずき	灰色かび病	H.11	北海道・上川農試	1000	無	8/1,11,20	?	?	?	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
			北植防(音更)	1000	少	8/4,11,20	?	?	?	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
				1500			?	?	?	—				
		H.12	北海道防除所	1000	少	7/27,8/3,10	?	?	?	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
				1500			?	?	?	—				
			北海道・上川農試	1500	極少	7/17,25,31	?	?	?	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
			北海道・十勝農試	1500	極少	7/27,8/7,16	?	?	?	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
		H.13	北海道・十勝農試	1500	少	8/4,13,21	B	A	A	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
			北海道防除所	1500	少	7/31,8/9,16	C	C	C	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
			北植防(音更)	1500	少	8/1,10,20	B	B	B	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
			北植防(有明)	1500	少	8/2,10	B	B	B	—	プロシミドン(水)×1000			
		H.15	北海道・北見農試	1000	少	8/11,21,31	C	B	B	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
				1500			C	B	B	—				
			北海道・十勝農試	1000	少	8/18,28	C	B	B	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
				1500			B	B	B	—				
			北海道防除所	1000	少	8/5,15,27	B	B	B	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
				1500			B	B	B	—				
			北植防(音更)	1500	少		A	A	A	—	プロシミドン(水)×1000			
	菌核病	H.11	北植防(有明)	1000	無	7/28,8/4	?	?	?	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
			北植防(音更)	1000	少	8/4,11,20	B	B	B	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
				1500			?	?	?	—				
		H.12	北植防(音更)	1000	極少	7/24,8/3,14	?	?	?	—	フルアジナム(水)×1000			
				1500			?	?	?	—				
			北海道・十勝農試	1500	無	8/4,13,21	?	?	?	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
			北植防(有明)	1500	極少	8/2,10	?	?	?	—	プロシミドン(水)×1000			
			北植防(音更)	1500	少	8/1,10,20	B	B	B	—	プロシミドン(水)×1000			
		H.14	北海道・十勝農試	1500	極少	8/2,12,23	?	?	?	—	プロシミドン(水)×1000			
			北植防(有明)	1500	少	8/1,9	B	B	B	—	プロシミドン(水)×1000			
			北植防(音更)	1500	少	8/5,15,23	C	B	B	—	プロシミドン(水)×1000			
		H.15	北海道・十勝農試	1000	少	8/18,28	A	A	A	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
				1500			B	A	A	—				
			北植防(有明)	1000	少	8/6,13	B	A	A	—	プロシミドン(水)×1000			
			北植防(音更)	1000	少	8/12,20,28	B	A	B	—	プロシミドン(水)×1000			
				1500			B	B	B	—				
		いんげんまめ	灰色かび病	H.10	日植防(高知)	1000	少	H11.4/6,13,20,27	B	A	B	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1500	
						1500			B	A	B	—		
H.11	北海道・十勝農試			1000	少	7/19,30,8/9	C	C	C	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
	北海道防除所			1000	少	7/16,23,8/3	A	A	A	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
				1500			B	B	B	—				
	日植防研			1000	少	H12.3/10,21,28	B	A	B	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000	H12.報告		
				1500			B	A	B	—				
	日植防(高知)			1000	少	H12.3/10,17,24	B	A	B	±	プロシミドン(水)×1500	H12.報告		
				1500			B	A	B	±				
	日植防(宮崎)			1000	甚	H12.2/8,14,22	B	A	A	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1500	H12.報告		
				1500			B	A	A	—				
H.12	北海道・十勝農試			1500	少	7/11,17,27	C	C	C	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
	北海道防除所			1000	少	7/19,27,8/3	A	A	A	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
				1500			B	A	A	—				
	北植防(音更)			1500	無	7/19,28,8/7	?	?	?	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
	日植防研			1000	中	H13.4/16,26,5/6,17	B	A	A	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000	H13.報告		
				1500			B	A	A	—				
H.15	北海道・北見農試			1500	少	7/12,22,8/1	B	B	B	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000			
	北海道・十勝農試	1500	中	7/18,28,8/6	C	C	C	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000					
	北海道防除所	1500	少	7/14,25,8/5	B	A	B	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000					
	北植防(音更)	1500	極少	7/18,28,8/6	?	?	?	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000					
菌核病	H.11	北海道・十勝農試	1000	少	7/19,30,8/9	B	B	B	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000				
		北海道植防	1000	少	7/23,8/2,10	A	A	A	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000				
		日植防研	1000	甚	H12.3/10,21,28	B	B	B	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000	H12.報告			
			1500			B	B	B	—					
		日植防(宮崎)	1000	少	H12.2/8,14,22	B	B	B	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000	H12.報告			
		1500			B	B	B	—						

委託試験成績概要

*開発中の作物・病害

作物名	病害名	年次	試験機関	希釈倍率	発生量	散布日	結果				対照薬剤	備考	
							対対照	対無処理	判定	薬害			
いんげんまめ	菌核病	H.12	北海道・十勝農試	1500	少	7/11,17,27	B	A	A	—	プロシミドン(水)×1000		
			北海道植防	1500	少	7/10,17,24	B	A	A	—	プロシミドン(水)×1000		
			北植防(音更)	1000	極少	7/19,28,8/7	?	?	?	—	フルアジナム(水)×1000		
			1500										
		日植防研	1000	多	H13.3/5,12,22,30	A	A	A	—	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル(水)×1000	H13.報告		
		1500				B	A	A	—				
		H.13	北海道・十勝農試	1500	少	7/13,22,8/2	B	A	A	—	プロシミドン(水)×1000		
			北植防(音更)	1500	少	7/18,29,8/8	B	B	B	—	プロシミドン(水)×1000		
だいず	菌核病	H.11	北植防(音更)	1000	無	8/4,11,23	?	?	?	—	イプロジオン(水)×1000		
			H.12	北植防(音更)	1500	極少	7/24,8/3,14	?	?	?	—	イプロジオン(水)×1000	
			H.13	北植防(音更)	1500	少	8/5,15,24	B	B	B	—	プロシミドン(水)×1000	
			H.14	北植防(音更)	1500	少	8/7,16,26	B	B	B	—	プロシミドン(水)×1000	
			H.15	北植防(有明)	1500	中	8/6,13,20	B	B	B	—	プロシミドン(水)×1000	
			北植防(音更)	1500	極少	8/14,22,29	?	?	?	—	プロシミドン(水)×1000		
			H.17	北海道十勝農試	1500	極少	8/5,17	?	?	?	—	イプロジオン(水)×1000	
				北植防(有明)	1500	少	7/20,28,8/4	B	A	A	—	イプロジオン(水)×1000	
			H.18	北植防(有明)	1500	無	7/24,31,8/7,15	?	?	?	—	イプロジオン(水)×1000	
			H.19	北植防	1500	極少	7/18,27,8/6,15	?	?	?	—	イプロジオン(水)×1000	
小麦*	眼紋病*	H.21	北海道中央農試	1500	多	4/20,5/5	B	B	B	—	ブロクロラス(乳)×600		
			北海道上川農試	1500	甚	4/27,5/7	B	A	A	—	ブロクロラス(乳)×600		
ぶどう	灰色かび病	H.11	青森りんご県南	1000	少	6/11,18,28	B	A	B	—	イプロジオン(水)×1500		
				1500			B	A	B	—			
			秋田果試・天王	1500	中	6/9,28	A	B	B	—	イプロジオン(水)×1500		
			長野中信農試	1000	少	5/30,6/5	B	A	A	—	イプロジオン(水)×1500		
				1500			B	B	B	—			
			長崎果試	1000	少	5/13,24	B	B	B	—	イプロジオン(水)×1500		
				1500			B	B	B	—			
			鹿児島果試・北薩	1000	少	5/7,14	B	B	B	—	イプロジオン(水)×1500		
		1500				B	B	B	—				
		H.12	秋田果試天王	1000	甚	6/14,23	A	A	A	—	ミノクタジン酢酸塩・ポリオキシ複合体(水)×800		
				1500			B	A	A	—			
			長野中信農試	1000	甚	5/29,6/7	B	A	A	—	イプロジオン(水)×1500		
1500					B	A	A	—					
長崎果試	1000	中	5/12,25	B	B	B	—	イプロジオン(水)×1500					
すす点病	H.17	岡山農試	1000	多	6/10,27	A	B	B	—	クレソキシムメチル(フ)×2000			
			1500			A	B	B	—				
H.19	岡山農試	1000	多	6/28,7/11	B	A	A	—	硫黄(粉)3kg/10a				
		1500			C	B	B	—					
かんきつ	灰色かび病	H.11	静岡柑橘試	1500	中	5/21	B	B	B	—	イプロジオン(水)×1500		
			愛媛果試	1500	中	5/25	C	B	C	—	イプロジオン(水)×1500		
			日植防(宮崎) (佐賀果試協力)	1500	中	5/20	A	A	A	—	イプロジオン(水)×1500		
			長崎果試	1500	中	5/7,15	B	B	B	—	イプロジオン(水)×1500		
		H.12	静岡柑橘試	1500	中	5/29	B	B	B	—	イプロジオン(水)×1500		
			愛媛果試	1500	中	5/26	B	B	B	—	イプロジオン(水)×1500		
			長崎果試	1500	中	5/19	B	B	B	—	イプロジオン(水)×1500		

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外に使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋は圃場や用水路などに放置せず、適切に処理してください。

カンタス ドライフロアブル普及会

日本曹達株式会社

事務局：BASFジャパン株式会社

〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー21階
☎0120-014-660 ☎03-3796-9419 <http://www.basf-agro.co.jp>